

今月の技術対策 (大豆)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukail@pref.hokkaido.lg.jp


 水稻・園芸編も
HPで公開中！

【大豆】

1 は種

(1) 種子の準備

- ・使用する種子は根粒菌接種されたものを使用します。未処理の種子を使用する場合は、根粒菌接種を行います。
- ・豆類の主要害虫の1つであるタネバエの発生量は「並」と予想されています（北海道病害虫防除所 病害虫発生予察情報より）。
種子を加害から守り、発芽率と栽植密度を確保するために、種子消毒後に、は種を行ってください。

(2) は種深度

- ・適正は種深度は2～3 cmです。ほ場が乾燥している環境下で通常よりやや深め（4～5 cm程度）に調整します。天気予報を確認しながら、作業を進めてください。

(3) 施肥

- ・施肥は「北海道施肥ガイド2020」に準拠し（表）、土壌診断結果や前年度の作付品目や有機物の施用状況により量を調整します。発芽障害を防ぐため、施肥に留意しましょう。

表 道北における施肥標準 (kg/10a)

区分	窒素(N)	リン酸(P ₂ O ₅)	カリ(K ₂ O)	苦土(MgO)
低地土	1.5～2	11	8	3～4
泥炭土		12	10	
台地土		12	8	

2 除草剤散布

- ・豆類の除草剤は使用時期が短いです。タイミングを逸しないよう準備を進めましょう。
- ・土壌処理剤の効果を高めるためのポイント
 - ① 碎土整地を丁寧に行う
 - ② 土壌水分が適度にある状態で、適期に散布する

農薬散布にあたっては「農作物病害虫防除および防除剤使用ガイド」の最新版を用い、適正使用に努めてください。